

冬も魅力あふれる旭川



あさひかわ
旭川市長(北海道) **にしかわまさひと**
西川将人

北海道の拠点都市・旭川

わがまち旭川は、北海道のほぼ中央に位置しており、雄大な大雪山系の山々が市み、石狩川をはじめとする多くの河川が市内を流れ、明瞭な四季が織りなす自然と、医療、福祉、教育、文化などの都市機能が調和する北・北海道の拠点都市です。「旭山動物園」や「旭川ラーメン」「旭川家具」などでまちの名前をご存じの方も多いのではないのでしょうか。

「旭山動物園」は、動物本来の特徴的な行動を見ることができ、行動展示で世界的にも有名となり、毎年多くの方に来園いただ



嵐山展望台から望む市街地と大雪山

いています。今の時期は、ペンギンの雪上散歩など寒い地域に住む動物たちの、生き生きとした姿を見ることが出来ます。

「旭川ラーメン」は、ご当地グルメの定番で、市内には150を超える専門店が存在しています。しょうゆがベースと思われるがちですが、それぞれが独自の味を追求してこだわりのラーメンを提供しており、さまざまな味を楽しみながら、冬の季節には冷えた体を温めることができます。

毎年9月に開催している北海道を代表する食の祭典「北の恵み 食べマルシェ」では、全国初の恒久的な歩行者専用道路である平和通買物公園を中心とした全長1.7kmに、旭川ラーメンをはじめ、北北海道が誇る豊富な農作物や海の幸などを生かした料理や名産品がずらりと並び、100万人を超える来場者が舌鼓を打ちます。

その他にも、北海道の豊富な森林資源と100年を超える長い歴史を経て受け継がれた優れた技術力を背景に、世界に知られるブランドに成長した「旭川家具」は、国際家具デザインフェア旭川や旭川デザインウィークの開催などを通じて、旭川のものづくりとデザインを世界に発信しています。平成29年にはIF(インター)ア宣言、そして、昨年10月には、デザイン分野でユネスコ創造都市ネットワークに国内では名古屋市、神戸市に次ぐ3都市目の加盟認定を受けました。

積雪寒冷地をまちの魅力に

旭川市は、最深積雪が約100cm、1月の平均気温がマイナス7.5℃の積雪寒冷地であり、明治35年に観測されたマイナス41.0℃が国内最低気温という記録も持っています。毎年2月には「旭川冬まつり」を開催し、国内外より約100万人の来場者があります。3月には、国内最大規模のクロスカントリースキーおよび歩くスキーの国際大会「バーサロペット・ジャパン」を開催するなど、これらのイベントなどを通して、雪や寒さを観光資源として活用しています。

また、このような雪や寒さなどの自然環境と多様な「食」、そして約34万人が暮らす都市環境といった本市の優位性を生かし、現在、「大雪山国立公園」の北西部に位置する1市7町からなる大雪カムイミンタラDMOにおいて、国内外からの観光者に対し、充実したアフタースキーなど、豊富な冬季観光と体験型プログラムを提供する「都市型スノーリゾート」の構築を進めています。

北海道の屋根・大雪山連峰に抱かれた本市を中心とするエリアは、11月から5月までの長期間にわたってスキーやスノーボードを楽しむことができます。上質なパウダースノーが降り積もり、その雪質は世界で活躍するプロアスリートからも高く評価



川霧がかかる冬の旭橋

Copyright(C) Asahikawa City

され、近年では海外のスキーヤーからの注目も高まっています。

また、まちの中心部から1時間圏内に八つものスキー場があり、アクセスも良く、緩斜面もあれば山岳もあり、ファミリー層から上級者まで多様なニーズに対応が可能です。

スキーで冬の自然を楽しむ

私自身も小さな頃からスキーをしており、12歳の時に「S A J I級ライセンス」を取得しました。現在もシーズン中、時間を

見つけては近隣のゲレンデへと足を運んでいます。大自然と一体となって滑走する爽快感は格別で、気分をリフレッシュさせてくれますし、板を操作し、きれいなシユプール(滑った跡)を描けた時は、とても達成感があります。

本州では、標高の高い山の中にあることが多いスキー場ですが、本市では住宅地のすぐ裏に構えるところもあるほど身近な施設です。早朝の凜とした空気の中を切り裂くように滑るスキーや、夜景を望みながら暖色の明かりの中で滑るナイトスキースキーなど、時間帯によっても楽し

しみ方が変わりますし、頂上に着くまでのゴンドラの中で仲間や家族と談笑する時間もかけがえのないものです。また、山の頂上からの景観も圧巻で、真っ白に雪が降り積もった上川盆地が夕焼け色に染まっていく光景は、何度見ても素晴らしいです。もちろんアフタースキーも醍醐味の一つで、スキー後のお風呂や仲間と北海道の食や地酒を囲む時間は至福のひとつです。

北海道の冬と言いますと、厳しい寒さや吹雪というイメージを持たれる方も多く、飛行機の欠航を心配する声をよく耳にします。旭川空港は、万全の



「神々の遊ぶ庭」大雪山旭岳スキー場にて



旭岳をバックに筆者

除雪体制などにより年間の就航率は国内トップレベルの99・7%を誇っていますので、旅行の計画が崩れる心配がほとんどなく、安心してお越しいただけます。スキー以外にも、スノーラフティングやスノーバナナ、スノーボード、スケートなどウィンターアクティビティもたくさんありますので、スキーの経験・未経験問わず皆さまには旭川へお越しいただき、「シルキースノー」とも言われる良質な雪質、そして都市型スノーリゾートをぜひ体感していただきたいと思っています。